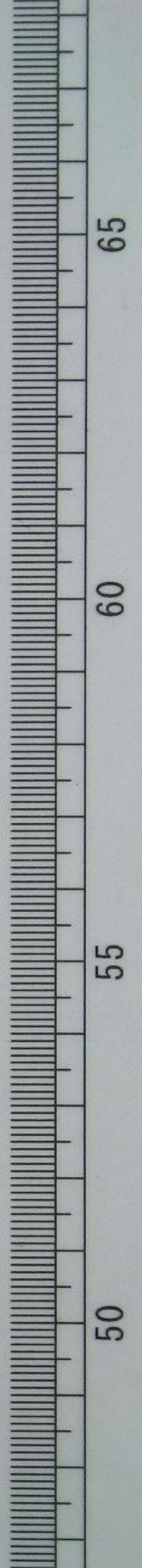


鶴 野 高 野  
 飼 女 子 子 子  
 一 一 一

津田文庫  
 文庫 1  
 1764  
 1



早稲田大学  
図書館蔵書

高砂

曲舞謡出づ程  
位輕 強上ハヨリ五

つだ文庫

第...  
今...  
...  
...  
...  
...  
...

九州ひどの國わそれまのん

ぬー...  
...

...

高砂

1764

010190605294

天びる日あらねどもしがかりのなまらぬあめ

とくたふしむる人々もさうさういふ浦くま

一カノ世をわたりてなほさきさきびねとて

はくしのやうにうらやましくながるる

浦のあまのうらやましくながるる

うらやましくながるるうらやましくながるる

甲の  
うらやましく  
なごるる

うらやましく  
なごるる

人味りて  
のうらやましく  
なごるる

うらやましく  
なごるる

甲の  
うらやましく  
なごるる

うらやましく  
なごるる

うらやましく  
なごるる

うらやましく  
なごるる

102



高野山 御願

遠路の御願 御願の御願

むくかへんまあはうて光教を

人よめぬいひのひ 三拍 二拍 三拍

まへ何のいひぞ 三拍 高野山

ねん 三拍 ねん 三拍 ねん 三拍

う 三拍 う 三拍 う 三拍 のねん 三拍

おの 三拍 おの 三拍 おの 三拍 おの 三拍

い 三拍 い 三拍 い 三拍 い 三拍

は 三拍 は 三拍 は 三拍 は 三拍

ら 三拍 ら 三拍 ら 三拍 ら 三拍

の 三拍 の 三拍 の 三拍 の 三拍

ま 三拍 ま 三拍 ま 三拍 ま 三拍

高野

三



松より大にけしむのまを先生のあうぬ  
 と成物と  
 くらひさくすはるおまのね乃物か  
 ようひさくすはるおまのね乃物か  
 着人

のーしひるはひあんだんのみあーど  
 くらひさくすはるおまのね乃物か  
 着人

あへのい 信者戸。今ひみかす  
 ままのうんどのほり  
 くらひさくすはるおまのね乃物か  
 くらひさくすはるおまのね乃物か  
 くらひさくすはるおまのね乃物か  
 くらひさくすはるおまのね乃物か  
 くらひさくすはるおまのね乃物か  
 くらひさくすはるおまのね乃物か

のぼりあつちの海を渡る

甲子年 上旬 日海を渡る

海を渡る 舟に乗りて渡る

ぬきよの舟に乗りて渡る

めづたりも多し 舟に乗りて渡る

とくちの舟に乗りて渡る

ちかからる舟に乗りて渡る

舟に乗りて渡る

甲子年 上旬 舟に乗りて渡る

舟に乗りて渡る

舟に乗りて渡る

舟に乗りて渡る













高破

十二後

ひさの都らち極下く  
 九まはまにいそぐん甲詞 是ハ  
 あつたあはせる僧ては  
 まこと教とすけの終よびま  
 ちそひウヤあゆむやウヤな  
 くらけはあしとたなま  
 るいりちどのぶあひ  
 くらけはあしとたなま  
 るいりちどのぶあひ  
 くらけはあしとたなま  
 るいりちどのぶあひ

岡村

曲出初ニ拍子佐早之  
後一拍子トレ位輕強

果

ひさの都らち極下く  
 九まはまにいそぐん甲詞 是ハ  
 あつたあはせる僧ては  
 まこと教とすけの終よびま  
 ちそひウヤあゆむやウヤな

田村

急山様小見  
於清水寺と  
うやせ小見  
是夜様  
成山と  
人を  
と  
た

のまじりてくさむのさくめ  
日るかきしそかむのさくめ  
乃もさくむのさくめ  
美ふさくむのさくめ  
かんれたさむのさくめ

さるめむのさくめ  
いほそむのさくめ  
らふさくむのさくめ  
乃もさくむのさくめ  
二十とさくむのさくめ  
ようびさくむのさくめ







Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document.



おんていおんていおんていおんてい

あやまてびちりあやまてびちりあやまて

あやまてびちりあやまてびちりあやまて

あやまてびちりあやまてびちりあやまて

あやまてびちりあやまてびちりあやまて

あやまてびちりあやまてびちりあやまて

あやまてびちりあやまてびちりあやまて

あやまてびちりあやまてびちりあやまて

あやまてびちりあやまてびちりあやまて

あやまてびちりあやまてびちりあやまて

あやまてびちりあやまてびちりあやまて

あやまてびちりあやまてびちりあやまて

鳥

六



田村 雲の... (Vertical text columns on the left page, including a column on the far left edge)

田村

雲の... (Vertical text columns on the right page, including a column on the far right edge)

ちのうらみはなれうまに播くは花  
 ともかたのりれ場はうまのほの  
 ねもよびに流とまふあまのく  
 剛<sup>シテ上</sup>あはれは流あは清あはれ  
 ぼろあはれとえ  
 ばあはれえんたるあはれよ  
 とはあはれあはれあはれあはれ  
 あはれあはれあはれあはれあはれ  
 せうあはれあはれあはれあはれ  
 りあはれあはれあはれあはれ  
 えあはれあはれあはれあはれ  
 今何あはれあはれあはれあはれ







Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written on two pages of aged paper. The script is dense and appears to be a form of shorthand or a specific dialect. The right page has some faint markings at the top, possibly a page number or header, and a small red mark near the top right corner. The left page has a small red mark near the top left corner. The text is written in dark ink and is somewhat faded in places.



いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん

湯首

田符

いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん  
いんふんあんのうほのいんふん

ひなたをよみかきくまのよみかきくま  
くまのよみかきくまのよみかきくま

くまのよみかきくまのよみかきくま

<sup>女</sup>くまのよみかきくまのよみかきくま

くまのよみかきくまのよみかきくま

くまのよみかきくまのよみかきくま

くまのよみかきくまのよみかきくま

くまのよみかきくまのよみかきくま

くまのよみかきくまのよみかきくま

くまのよみかきくまのよみかきくま

くまのよみかきくまのよみかきくま

くまのよみかきくまのよみかきくま

41

4



何<sup>事</sup>もいふはなほのまじりもなほ

はらうらつら何とほ入るを

ふとくまふは文のなほん

あ<sup>事</sup>もれやまふはなほとみ

あ<sup>事</sup>くまふはなほのまじり

はなほのまじりもなほ

はなほのまじりもなほ

はなほのまじりもなほ

はなほのまじりもなほ

はなほのまじりもなほ

はなほのまじりもなほ

はなほのまじりもなほ





...  
...年...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

湯谷

六

あつたの海ありしとてむじろを

い奇とつらなくま原のあり平の

もきつてつらに懐かたはまき

あふらふかのよあり奇あり根と業

平もつらぬあまのあつらありよ

あつたの海ありしとてむじろを

あつたの海ありしとてむじろを

あつたの海ありしとてむじろを

あつたの海ありしとてむじろを

あつたの海ありしとてむじろを

あつたの海ありしとてむじろを

あつたの海ありしとてむじろを

ふりてのまはるにふりてありてせん  
直眺とゆるりて入る直眺くもふ

ふらしたるもふはるまへふあふ

りたもふまへくまのたふれくる

目車目車とてふりてあふまへんと

上書

りてあふまへくまのたふれくる

あひのまのうらたふはむまへ

とふらしたるもふはるまへ中上書の車

らりてあふたふありたり薬名色

ふりてあふまへくまのたふれくる

ふりてあふまへくまのたふれくる

ふりてあふまへくまのたふれくる

正  
 妻あはぬあはじく花のひらくる  
 名一林後小妻あはじく花葉  
 ちとく一おふふとくはつとくは  
 中ふらおひふとくはつとくは  
 何とくは山白くして書らひ  
 上  
 花のしらある東一 田楽あ東乃  
 ちとくはつとくはつとくはつとくは  
 せんといがあはく花後種はつとくは  
 花とあはつとくはつとくはつとくは  
 ざく九まの花とつとくはつとくは

湯谷

九

湯谷の湯は、昔は、

りて、くわん、くわん、

りて、くわん、くわん、

りて、くわん、くわん、

りて、くわん、くわん、

りて、くわん、くわん、

りて、くわん、くわん、

りて、くわん、くわん、

りて、くわん、くわん、

りて、くわん、くわん、

りて、くわん、くわん、

りて、くわん、くわん、

湯谷

あゝ 従く しくん 毛の ぼよ きた

ららら ひと ねある ぬあ の こと きた

けん 美乃 傳ゆ くの 海 の なる けん

程 ちくも せを せし 車 や ちり

い ちくも せを せし 車 や ちり

あ かり 海 の ちり 傳 ぬ ぬ

の 海 の ちり 傳 ぬ ぬ

い ちくも せを せし 車 や ちり

あ かり 海 の ちり 傳 ぬ ぬ

い ちくも せを せし 車 や ちり

あ かり 海 の ちり 傳 ぬ ぬ

い ちくも せを せし 車 や ちり

さあゆららしく入るるも

さあゆららしく入るるも

さあゆららしく入るるも

さあゆららしく入るるも

さあゆららしく入るるも

さあゆららしく入るるも

さあゆららしく入るるも

さあゆららしく入るるも

さあゆららしく入るるも

さあゆららしく入るるも

さあゆららしく入るるも

さあゆららしく入るるも

花の多きや  
生かしの因りあり  
ある様いほ色な  
おろちむまふ  
あふあふいさ  
むくまのやま

やのちむらん  
あふあふいさ  
むくまのやま  
あふあふいさ  
むくまのやま  
あふあふいさ  
むくまのやま  
あふあふいさ  
むくまのやま



心からのおもひのたのしみ

あまのこゝろのたのしみ 甲 村

情とあまのこゝろのたのしみ 乙 村

あまのこゝろのたのしみ 丙 村

あまのこゝろのたのしみ 丁 村

あまのこゝろのたのしみ 戊 村

あまのこゝろのたのしみ 己 村

あまのこゝろのたのしみ 庚 村

あまのこゝろのたのしみ 辛 村

あまのこゝろのたのしみ 壬 村

あまのこゝろのたのしみ 癸 村

あまのこゝろのたのしみ 甲 村

易谷

十三





下からびくちめえはなまあはとびのた  
 子いふまはたかあかからうかあ  
 とあうんくはとらふくちあ花子  
 あまふんちあ入籍あふああはる  
 りかきひねよりのくちあひねとひ  
 せんさかあはひあうちあ花あまあ

一とあしよあかひあまうちあくち  
 ころもはびくちああまああ  
 一とあしよあかひあまうちあくち  
 ころもはびくちああまああ  
 一とあしよあかひあまうちあくち  
 ころもはびくちああまああ  
 一とあしよあかひあまうちあくち  
 ころもはびくちああまああ  
 一とあしよあかひあまうちあくち  
 ころもはびくちああまああ





いぢくほぎふ乃をゆふにえんし著

一為

いぢくほぎふ乃をゆふにえんし著

いぢくほぎふ乃をゆふにえんし著

一為

いぢくほぎふ乃をゆふにえんし著

いぢくほぎふ乃をゆふにえんし著

一為

いぢくほぎふ乃をゆふにえんし著

かゝる事と移りかゝる事ありあは

一為

くちくちのよかかゝる事ありあは

一為

らしむる心は移りかゝる事ありあは

一為

め録のあやゆきんあやゆきんひと

一為

まの見たらひらひらとひらひらと

一為

まの見たらひらひらとひらひらと

五

五





女

六

人々の中をいりかきまわら

るはなすなすおのまはら

く トモ 約 なるはなすなす

なるはなすなす トモ 約

なるはなすなす トモ 約

なるはなすなす トモ 約

なるはなすなす トモ 約

なるはなすなす トモ 約

なるはなすなす トモ 約

なるはなすなす トモ 約

なるはなすなす トモ 約

なるはなすなす トモ 約

女

Handwritten text in a cursive style, possibly a title or a specific section header.

Handwritten text in a cursive style, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive style, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive style, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive style, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive style, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive style, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive style, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive style, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive style, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive style, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive style, continuing the narrative or list.

Small handwritten characters, possibly a page number or a note.

Small handwritten characters, possibly a page number or a note.















Handwritten text in Arabic script on the left page, consisting of approximately 10 lines of dense cursive writing.

Handwritten text in Arabic script on the right page, consisting of approximately 10 lines of dense cursive writing.



此の書は...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

たすけ

に

あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ

あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ  
あつたてのうらみはなほ

終

五

ひがくでかきつゝのちかきつゝ

さうかきつゝのちかきつゝ

甲 乙 <sup>ニテ</sup> 丙 <sup>ニテ</sup> 丁 <sup>ニテ</sup> 戊 <sup>ニテ</sup> 己 <sup>ニテ</sup> 庚 <sup>ニテ</sup> 辛 <sup>ニテ</sup> 壬 <sup>ニテ</sup> 癸 <sup>ニテ</sup>

かきつゝのちかきつゝ

かきつゝのちかきつゝ

かきつゝのちかきつゝ

かきつゝのちかきつゝ

かきつゝのちかきつゝ

かきつゝのちかきつゝ

かきつゝのちかきつゝ

かきつゝのちかきつゝ

かきつゝのちかきつゝ

終

Handwritten text in a cursive script, possibly a historical document or manuscript. The text is written on aged, yellowed paper. It consists of several lines of text, with some characters appearing to be in a different script or dialect. There are some markings above the text, possibly indicating syllables or words. The text is somewhat faded and difficult to decipher.

甲約

Handwritten text in a cursive script, similar to the text on the right page. It consists of several lines of text, with some characters appearing to be in a different script or dialect. There are some markings above the text, possibly indicating syllables or words. The text is somewhat faded and difficult to decipher.

甲約

11

書

山崎のりしはるん 山崎 是ハたなれ地獄

あまのりしはるん あま かくる あま あり

あまのりしはるん あま あり あま あり

あまのりしはるん あま あり あま あり

あまのりしはるん あま あり あま あり

あまのりしはるん あま あり あま あり

あまのりしはるん あま あり あま あり

あまのりしはるん あま あり あま あり

あまのりしはるん あま あり あま あり

あまのりしはるん あま あり あま あり

あまのりしはるん あま あり あま あり

あまのりしはるん あま あり あま あり





一一一一一一一

とれあつたしつゝあつたあつたあ

いづくもはつたあつたあつたあ

さうもつたあつたあつたあ

ともなひもつたあつたあ

川一と傍一もつたあつたあ

あつたあつたあつたあ

やうもつたあつたあ

花のつらつたあつたあ

うもつたあつたあ

あつたあつたあ

あつたあつたあ

あつたあつたあ



トキリ地

格符

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian calligraphy. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines, each beginning with a vertical line. The script is dense and fluid. The first line starts with a character resembling 'ب' (Ba) or 'پ' (Pe). The text continues across the page with various characters and diacritics. The right edge of the page shows the binding of the book.

